

第7次小樽市総合計画の進捗状況について（令和元年度）

令和元年度にスタートした第7次小樽市総合計画は、市政運営全般についての指針となる最上位の計画として位置付けをした、本市の施策の基本的な方向性を示す計画です。

「自然と人が紡ぐ笑顔あふれるまち小樽～あらたなる100年の歴史へ～」と将来都市像に掲げ、急速に進む人口減少と人口構造の変化に対して取り組むべき方向性を示しています。

また、市政の各分野を「子ども・子育て」「市民福祉」「産業振興」「生活基盤」「環境・景観」「生きがい・文化」に分類し、これらを『まちづくり6つのテーマ』として体系付け、全部で181の指標を定めています。

このテーマを構成する32の施策ごとに目指すべき姿とその展開方向を明らかにしていくため、令和元年度の取組結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 施策指標の推移について

総合計画の各分野に掲げた施策の進捗状況を客観的に把握することを目的に、指標の推移を確認し、令和元年度の結果を取りまとめました。

※本市アンケート調査や隔年で行う統計調査等の結果による指標など、令和元年度中に把握できない場合は、集計には含めていません（確認対象は112指標）。

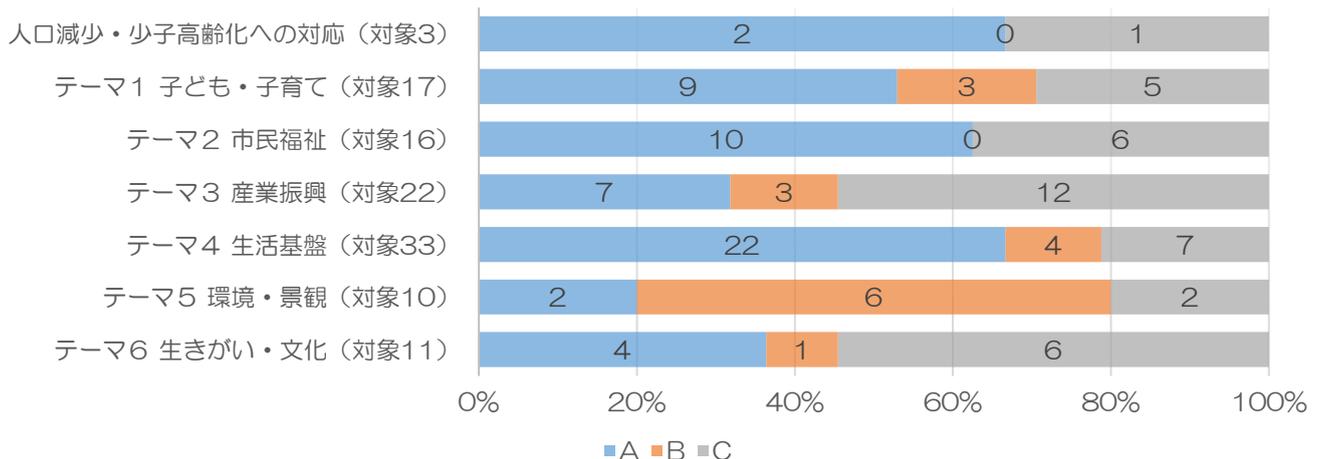
【指標の分類方法】

計画で設定した基準値より上向き	A
計画で設定した基準値と同数値	B
計画で設定した基準値より下向き	C

112指標のうち約65%が基準値より上向き又は同数値となりました。

分野	A	B	C	合計
人口減少・少子高齢化への対応	2	0	1	3
テーマ1 子ども・子育て	9	3	5	17
テーマ2 市民福祉	10	0	6	16
テーマ3 産業振興	7	3	12	22
テーマ4 生活基盤	22	4	7	33
テーマ5 環境・景観	2	6	2	10
テーマ6 生きがい・文化	4	1	6	11
合計	56	17	39	112

テーマごとの分類結果



2 政策に要した経費の内訳

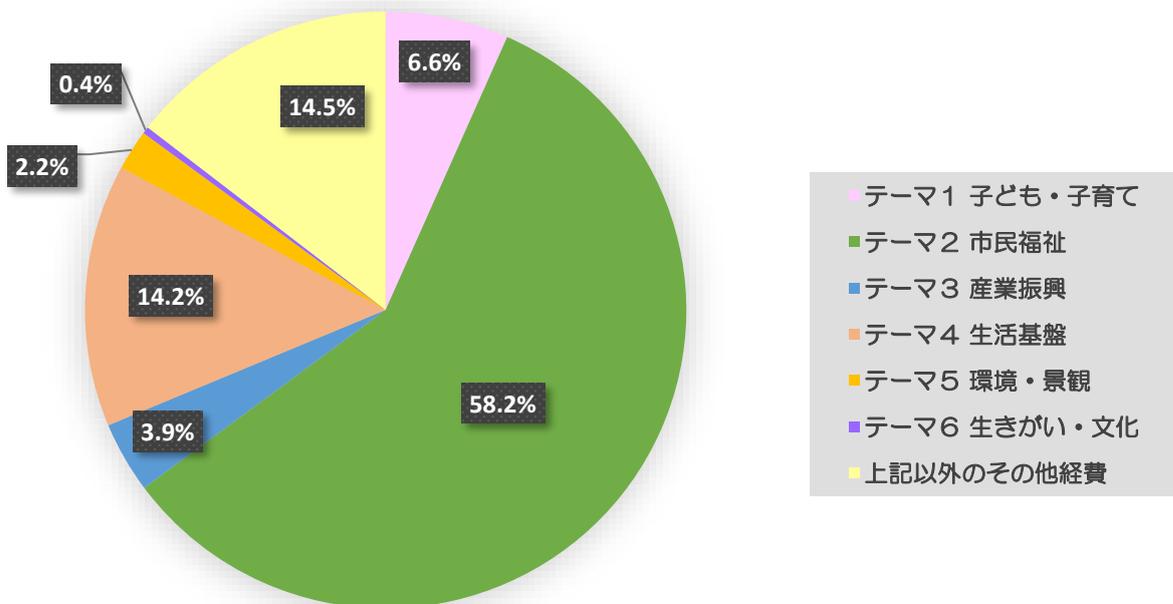
令和元年度決算の一般会計及び特別会計の歳出額と企業会計の支出（収益的支出及び資本的支出）額の合計※1を政策分野ごとに分類し、まちづくりの推進に要した経費の状況を取りまとめました。

分野	経費全体	うち企業会計
テーマ1 子ども・子育て	7,465百万円	—
テーマ2 市民福祉	65,549百万円	12,932百万円
テーマ3 産業振興	4,337百万円	—
テーマ4 生活基盤	16,024百万円	11,147百万円
テーマ5 環境・景観	2,462百万円	136百万円
テーマ6 生きがい・文化	421百万円	—
上記以外のその他経費 ※2	16,361百万円	—
合計	112,619百万円	24,215百万円

※1 一部繰越事業を除く

※2 市債の償還金、人件費のほか、広報関係や町内会館などのコミュニティ施設に係る経費など

各政策分野に要した経費の割合（令和元年度）



3 行政評価（施策評価）について

- (1) 第7次小樽市総合計画に基づく初の予算編成となった令和2年度の計画進捗状況の確認に行政評価を取り入れ、PDCAサイクルが本格的に動き始めることで、より効果的・効率的な施策の展開が図られます。
- (2) 行政評価の初年度となる令和3年度は、第7次小樽市総合計画に掲載している32の施策を対象に「施策評価」を実施します。
- (3) 施策評価に当たっては、各施策に設定した指標の推移を確認するほか、その施策を構成する主な事業についても点検を行い、評価結果を参考に施策のあり方や今後の方向性について、検討・整理することとしています。

第7次小樽市総合計画基本計画 各施策指標一覧表

No.	施策	小施策	指標	基準値	令和元年度実績値	目標値	推移
1	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	合計特殊出生率	1.12	H20～29平均 —	1.27	R1～10平均 —
2	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	転出超過数	825人	H21～30平均 736人	535人	R1～10平均 A
3	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	子育てがしやすいと感じている市民の割合（18歳未満の子どもがいる世帯）（No.25共通）	22.0%	R1 —	基準値より増	R10 —
4	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	雇用保険一般被保険者数（No.95共通）	33,492人	H30.10 32,815人	33,492人	R10 C
5	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	快適な住環境と感じている市民の割合（No.117共通）	44.0%	R1 —	基準値より増	R10 —
6	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	移住相談窓口を利用した移住人数（No.116共通）	112人	H21～30合計 21人	146人	R1～10合計 A
7	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	小売業の年間商品販売額（No.73共通）	1,298億円	H27 —	1,298億円	R10 —
8	人口減少・少子高齢化への対応	01 人口減少への挑戦	観光客消費額（No.85共通）	1,255億円	H25 —	2,300億円	R10 —
9	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	高齢者が元気に生き生きと暮らしていると感じている市民の割合	29.2%	R1 —	基準値より増	R10 —
10	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	自分が健康であると感じている市民の割合（No.52共通）	58.5%	R1 —	基準値より増	R10 —
11	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合（No.123共通）	37.8%	R1 —	基準値より増	R10 —
12	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	地域公共交通に対して満足している市民の割合（No.128共通）	34.3%	R1 —	基準値より増	R10 —
13	人口減少・少子高齢化への対応	02 将来人口への適用	適切な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	24.5%	R1 —	基準値より増	R10 —
14	1-1子ども・子育て支援	01 妊娠・出産・子育て支援の充実	育児相談延べ件数	335件	H30 281件	600件	R10 C
15	1-1子ども・子育て支援	02 保育サービスの充実	各種保育サービスの延べ利用児童数	21,080人	H30 22,664人	21,000人	R10 A
16	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	地域子育て支援センターの延べ利用世帯数	5,502世帯	H30 4,507世帯	5,500世帯	R10 C
17	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	児童館・児童センターの延べ利用児童数	17,287人	H30 18,883人	17,200人	R10 A
18	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	ファミリーサポートセンターの提供会員登録数	140人	H30 132人	140人	R10 C
19	1-1子ども・子育て支援	03 地域子育て支援の推進	地域子育て支援センターや親子の集いの場などの設置箇所数	4か所	H30 4か所	5か所	R10 B
20	1-1子ども・子育て支援	04 子どもを守る仕組みの充実	虐待などの困りごと相談延べ件数	208件	H30 207件	200件	R10 B
21	1-1子ども・子育て支援	05 ひとり親家庭への支援	ひとり親世帯、生活困窮世帯の児童の学習・生活支援事業参加者数	30人	R1 30人	50人	R10 B
22	1-1子ども・子育て支援	06 地域活動団体への支援とリーダー養成	リーダー養成研修参加数	32人	H26～30平均 21人	32人	R10 C
23	1-1子ども・子育て支援	07 見守り育てる環境づくり	20歳未満の青少年1,000人当たりにおける補導、指導された青少年の数	10人	H30 9.57人	6人	R10 A
24	1-1子ども・子育て支援	08 子どもの基本的な人権の尊重と保護	子どもの権利条約について理解している市民の割合	26.2%	R1 —	基準値より増	R10 —
25	1-1子ども・子育て支援	市民アンケート指標	子育てがしやすいと感じている市民の割合（18歳未満の子どもがいる世帯）（No.3共通）	22.0%	R1 —	基準値より増	R10 —
26	1-2学校教育	01 未来を創る力の育成	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査等において国語、算数・数学が「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合（対象は、小学校6年生及び中学校3年生）	小学校国語69.6%	H30 69.5%	70.0%	R10
			小学校算数68.2%	H30 66.7%	70.0%	R10	
			中学校国語51.8%	H30 65.4%	70.0%	R10	
			中学校数学50.4%	H30 58.1%	70.0%	R10	
27	1-2学校教育	02 豊かな心の育成	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問で「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合	小学校60.4%	H30 98.2%	70.0%	R10
			中学校58.2%	H30 92.4%	70.0%	R10	
28	1-2学校教育	02 豊かな心の育成	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「はじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問で「当てはまる」と回答した割合	小学校90.9%	H30 98.2%	100.0%	R10
			中学校76.4%	H30 92.4%	100.0%	R10	
29	1-2学校教育	03 健やかな体の育成	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計得点（全国を50.0とした場合）	小学校男子50.4	H30 49.5	50.0	R10
				小学校女子49.4	H30 49.8	50.0	R10
				中学校男子48.4	H30 48.3	50.0	R10
				中学校女子47.0	H30 46.6	50.0	R10
30	1-2学校教育	04 家庭・地域との連携・協働の推進	コミュニティ・スクールを導入する学校の割合	小・中学校3.3%	H30 13.3%	小・中学校50.0%	R10 A
31	1-2学校教育	05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現	中学校区で小中学校9年間の共通の目標を設定し、教育活動を行う学校の割合	小・中学校10.0%	H30 66.7%	小・中学校100.0%	R10 A
32	1-2学校教育	05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現	公立小中学校施設の耐震化率	小・中学校81.3%	H30 88.6%	小・中学校100.0%	R10 A
33	1-2学校教育	市民アンケート指標	子どもたちに学力・体力・豊かな心が育まれていると感じている市民の割合（18歳未満の子どもがいる世帯）	23.4%	R1 —	基準値より増	R10 —
34	2-1地域福祉	01 住民相互の支え合いを目指した地域福祉活動の推進	ボランティア・市民活動センターの登録団体数	125団体	H30 130団体	180団体	R10 A
35	2-1地域福祉	01 住民相互の支え合いを目指した地域福祉活動の推進	市民後見人登録者数	30人	H30 29人	52人	R10 C

No.	施策	小施策	指標	基準値	令和元年度実績値	目標値	推移	
36	2-1地域福祉	02 多様な課題解決に向けて連携する支援体制の構築	生活サポートセンターでの新規相談受付件数	253件	H30 227件	180件	R10 A	
37	2-1地域福祉	03 支援が必要な方が外出しやすい環境づくり	ヘルプマーク配布数	270個	H30 216個	2,700個	R1~10 合計 A	
38	2-1地域福祉	市民アンケート指標	困った時に相談できる人や場所がある市民の割合	49.1%	R1 —	基準値より増	R10 —	
39	2-2高齢者福祉	01 健康づくりと介護予防の取組の推進	地域版介護予防教室回数	584回	H30 563回	600回	R10 C	
40	2-2高齢者福祉	02 地域包括ケアシステムの深化に向けた高齢者を地域で支える仕組みづくりの推進	認知症サポーター養成講座回数	18回	H30 25回	50回	R10 A	
41	2-2高齢者福祉	03 高齢者の生きがいづくりの推進	老壮大学の定員に対する受講生の割合	72.5%	H30 65.0%	80.0%	R10 C	
42	2-2高齢者福祉	市民アンケート指標	介護予防事業など的高齢者サービスが充実していると感じている市民の割合（65歳以上の方がいる世帯）	38.4%	R1 —	基準値より増	R10 —	
43	2-3障がい者福祉	01 自立と社会参加の促進	就労支援の利用者数	395人	H30 482人	471人	R10 A	
44	2-3障がい者福祉	02 地域生活の支援体制の充実	障害福祉サービスの利用者数	1,297人	H30 1,325人	1,497人	R10 A	
45	2-3障がい者福祉	03 バリアフリー社会の実現	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数	421件	H30 339件	430件	R10 C	
46	2-3障がい者福祉	03 バリアフリー社会の実現	手話の講座の開催回数	72回	H30 86回	90回	R10 A	
47	2-3障がい者福祉	市民アンケート指標	障がいのある人が暮らしやすいと感じている市民の割合（障がいのある方がいる世帯）	21.1%	R1 —	基準値より増	R10 —	
48	2-4保健衛生	01 健康づくり施策の推進	健康寿命の延伸	男性79.08歳	H27 —	基準値より延伸	R10 —	
			女性85.14歳	H27 —	基準値より延伸	R10 —		
49	2-4保健衛生	02 健康危機管理体制の整備	病原微生物、有害物質等の検査機器の整備更新	—	—	3台	R1~10 合計 A	
50	2-4保健衛生	03 食と生活環境の安全確保	食品・環境関連施設監視率	100%	H30 148%	食品関連140%	R10 A	
				100%	H30 165%	環境関連160%	R10 A	
51	2-4保健衛生	04 人と動物が共生できる環境づくり	飼い主探しサポート（譲渡率）	72.1%	H27~ 29平均	82.1%	75.0%	R10 A
52	2-4保健衛生	市民アンケート指標	自分が健康であると感じている市民の割合（No.10共通）	58.5%	R1 —	基準値より増	R10 —	
53	2-5地域医療	01 良質で安全な医療の提供	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.0%	R1 —	基準値より増	R10 —	
54	2-5地域医療	02 救急医療体制の充実	急病等の際に対応する救急医療の仕組みに満足している市民の割合	39.9%	R1 —	基準値より増	R10 —	
55	2-5地域医療	03 市立病院の経営効率化と役割の明確化	経常収支比率	94.8%	H30 93.0%	100%以上	R10 C	
56	2-5地域医療	市民アンケート指標	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	38.7%	R1 —	基準値より増	R10 —	
57	2-6男女共同参画社会	01 男女の人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	配偶者暴力防止法の認知度	84.5%	H28.7	100%	R10 —	
58	2-6男女共同参画社会	02 あらゆる分野への男女共同参画の推進	市の審議会等における女性登用率	34.9%	H30.4	45%	R10 C	
59	2-6男女共同参画社会	03 男女が多様な生き方を選択できる環境づくり	男女が多様な生き方を選択できる環境が整っていると感じている市民の割合	21.4%	R1 —	基準値より増	R10 —	
60	2-6男女共同参画社会	市民アンケート指標	社会全体で男女平等となっていると感じている市民の割合	22.3%	R1 —	基準値より増	R10 —	
61	3-1農林業	01 農業経営基盤の強化	耕地面積	186ha	H27 185ha	186ha	R10 C	
62	3-1農林業	01 農業経営基盤の強化	認定農業者数	6件	R1 6件	20件	R10 B	
63	3-1農林業	02 市民に親しまれる地域農業の推進	市民体験農園の申込区画数	213区画	H30 213区画	220区画	R10 B	
64	3-1農林業	03 森林整備の推進	森林面積	16,374ha	H27 —	16,374ha	R10 —	
65	3-1農林業	市民アンケート指標	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	36.2%	R1 —	基準値より増	R10 —	
66	3-2水産業	01 つくり育てる漁業・資源管理型漁業の推進	放流魚種の漁獲量	724t	H30 434t	800t	R10 C	
67	3-2水産業	02 漁場環境の保全・漁業基盤の整備	小樽沿岸の漁獲量	3,853 t	H30 3,331t	3,900 t	R10 C	
68	3-2水産業	02 漁場環境の保全・漁業基盤の整備	ト等海獣による漁業被害額	61,421千円	H28~ 30平均	31,528千円	55,300千円	R10 A
69	3-2水産業	03 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進	小樽水産加工グループ出品数	12品	H30 —	20品	R10 —	
70	3-2水産業	03 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進	小樽のおさかな普及推進委員会HP閲覧数	40,000件	H30 48,413件	50,000件	R10 A	
71	3-2水産業	市民アンケート指標	小樽の水産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	49.7%	R1 —	基準値より増	R10 —	
72	3-3商業	01 創業の促進及び経営の安定化	商人塾参加人数	70人	H30 35人	70人	R10 C	
73	3-3商業	02 買い物環境の魅力向上	小売業の年間商品販売額（No.7共通）	1,298億円	H27 —	1,298億円	R10 —	

No.	施策	小施策	指標	基準値	令和元年度実績値	目標値	推移
74	3-3商業	02 買い物環境の魅力向上	飲食店売上高	133億円	H27	150億円	R10 ー
75	3-3商業	03 流通構造の変化に対応した卸売機能の強化	卸売業の年間商品販売額	1,305億円	H27	1,305億円	R10 ー
76	3-3商業	04 商店街・市場の振興	中心7商店街の空き店舗率	14.0%	H30	10.0%	R10 C
77	3-3商業	市民アンケート指標	買い物環境が充実していると感じている市民の割合	44.6%	R1	基準値より増	R10 ー
78	3-4工業・企業立地	01 経営基盤の強化と創業の促進	関係機関と連携した支援による新規創業者数	42件	H30	45件	R10 C
79	3-4工業・企業立地	02 ネットワークの形成と地場産業の活性化	製造業の付加価値額	624億円	H28	650億円	R10 ー
80	3-4工業・企業立地	03 地場産品の販路拡大と新たな市場開拓	製造業の製造品出荷額等	1,704億円	H28	1,900億円	R10 ー
81	3-4工業・企業立地	04 企業誘致活動の強化	課税免除による支援を活用した設備投資件数	7件	H30	70件	R1~10 合計 A
82	3-4工業・企業立地	市民アンケート指標	地場企業に活力があると感じている市民の割合	10.7%	R1	基準値より増	R10 ー
83	3-5観光	01 小樽の魅力を深める取組	小樽市の宿泊客延数	957,100人	H30	1,300,000人	R10 C
84	3-5観光	01 小樽の魅力を深める取組	観光客満足度	91.30%	H25	95.00%	R10 ー
85	3-5観光	01 小樽の魅力を深める取組	観光客消費額 (No.8共通)	1,255億円	H25	2,300億円	R10 ー
86	3-5観光	02 小樽の魅力を広げる取組	北後志6市町村宿泊客延数	1,249,900人	H30	1,700,000人	R10 C
87	3-5観光	02 小樽の魅力を広げる取組	小樽市の宿泊客延数 (No.83再掲)	957,100人	H30	1,300,000人	R10 C
88	3-5観光	03 小樽の魅力を共有する取組	観光客に伝えたい小樽の良さがあると答えた市民の割合	61.1%	R1	基準値より増	R10 ー
89	3-5観光	市民アンケート指標	観光都市であることに魅力や活力を感じている市民の割合	49.4%	R1	基準値より増	R10 ー
90	3-6港湾	01 物流の活性化	小樽港の年間取扱貨物量	1,307万トン	H30	1,295万トン	R10 C
91	3-6港湾	02 「みなと観光」拠点の創出	クルーズ船の道内寄港数における小樽港の割合	20.79%	H30	30%	R10 A
92	3-6港湾	03 安全・安心対策の推進	老朽化対策を行う岸壁数の割合	33.3%	H30	50.0%	R10 B
93	3-6港湾	04 石狩湾新港との連携	両港のタグボート相互利用等のポートサービス連携により寄港した船舶の隻数	89隻	H30	105隻	R10 A
94	3-6港湾	市民アンケート指標	港に魅力や活力を感じている市民の割合	29.6%	R1	基準値より増	R10 ー
95	3-7雇用・労働	01 安定した雇用の確保	雇用保険一般被保険者数 (No.4共通)	33,492人	H30.10	33,492人	R10 C
96	3-7雇用・労働	02 多様な人材の就労支援と地元密着の促進	新規高卒者の市内就職割合	46.2%	H30	50.0%	R10 C
97	3-7雇用・労働	02 多様な人材の就労支援と地元密着の促進	シルバー人材センター登録会員数	387人	H30.10	387人	R10 A
98	3-7雇用・労働	03 職業能力の開発・向上	市が指定する人材育成セミナーの受講者数	80人	H30	80人	R10 A
99	3-7雇用・労働	04 労働環境の整備	適正な労働環境であると感じている市民の割合	13.1%	R1	基準値より増	R10 ー
100	3-7雇用・労働	市民アンケート指標	働きやすいと感じている市民の割合	15.0%	R1	基準値より増	R10 ー
101	4-1上下水道	01 安全な水の供給と快適で安全・安心な生活環境の創造	水質分析機器の整備更新数	ー	ー	25基	R1~10 合計 A
102	4-1上下水道	01 安全な水の供給と快適で安全・安心な生活環境の創造	事業場排水の水質検査実施箇所数	ー	ー	400か所	R1~10 合計 A
103	4-1上下水道	02 上下水道機能の維持・強化	導水・送水・配水管の更新延長	ー	ー	34.3km	R1~10 合計 A
104	4-1上下水道	02 上下水道機能の維持・強化	下水道設備の整備更新数	ー	ー	184基	R1~10 合計 A
105	4-1上下水道	03 経営基盤の強化と市民の視点に立った事業経営	水道料金、下水道使用料の収納率	水道99.3% 下水道99.3%	H30 H30	水道99.3% 下水道99.3%	R10 R10 C
106	4-1上下水道	04 危機管理対策の充実と広域連携の推進	災害対策訓練実施回数	4回	H30	5回	R10 A
107	4-1上下水道	市民アンケート指標	上下水道に満足している市民の割合	61.4%	R1	基準値より増	R10 ー
108	4-2道路・河川	01 道路の整備・維持管理	道路改良工事等で側溝や舗装などを新設又は改良する市道の整備延長	2km	H28~30平均	20km	R1~10 合計 A
109	4-2道路・河川	01 道路の整備・維持管理	小樽市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕を完了する橋りょう数	2橋	H30	37橋	R6 A
110	4-2道路・河川	02 河川の整備・維持管理	河川しゅんせつ延長	2.5km	H30	3.0km	R10 C
111	4-2道路・河川	02 河川の整備・維持管理	沈砂池のしゅんせつ箇所	4か所	H30	4か所	R6 B
112	4-2道路・河川	市民アンケート指標	道路の整備や維持管理が適切に行われていると感じている市民の割合	35.9%	R1	基準値より増	R10 ー

No.	施策	小施策	指標	基準値	令和元年度実績値	目標値	推移
113	4-3住宅	01 安全・安心して快適な住宅の促進	住宅エコリフォーム助成制度による助成件数	7件	H30 14件	20件	R10 A
114	4-3住宅	02 市営住宅の整備活用	子育て世帯向け市営住宅の供給戸数	10戸	H30 10戸	30戸	R10 B
115	4-3住宅	03 空家等対策	管理不全な空家の解体件数	18件	H30 16件	200件	R1~10 合計 A
116	4-3住宅	04 移住促進に向けた情報提供などの充実	移住相談窓口を利用した移住人数 (No.6共通)	112人	H21~ 30合計 21人	146人	R1~10 合計 A
117	4-3住宅	市民アンケート指標	快適な住環境と感じている市民の割合 (No.5共通)	44.0%	R1 -	基準値より増	R10 -
118	4-4除排雪	01 効率的な雪対策の充実	除排雪等に対する「市民の声」件数	2,697件	H21~ 30平均 1,063件	2,100件	R1~10 平均 A
119	4-4除排雪	02 市民との協働による雪対策の検討	砂まきボランティアの登録数	153件	H30 192件	180件	R1~10 平均 A
120	4-4除排雪	03 雪堆積場等の確保	雪押場数	439か所	H30 529か所	530か所	R10 A
121	4-4除排雪	市民アンケート指標	冬期間、安全に移動できる道路が確保されていると感じている市民の割合	29.3%	R1 -	基準値より増	R10 -
122	4-5市街地整備	01 中心市街地の整備	中心市街地の歩行者通行量(年2回(1回当たり平日・休日の2日間)の調査値の合計)	25,590人	H30 25,463人	28,100人	R10 C
123	4-5市街地整備	02 周辺市街地の整備	暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合 (No.11共通)	37.8%	R1 -	基準値より増	R10 -
124	4-5市街地整備	03 新幹線を活用したまちづくりの取組	北海道新幹線札幌延伸後に新幹線を利用してみたいと答えた市民の割合	43.3%	R1 -	基準値より増	R10 -
125	4-5市街地整備	市民アンケート指標	中心部のにぎわいや商業・サービス機能に満足している市民の割合	14.7%	R1 -	基準値より増	R10 -
126	4-6交通	01 持続可能な交通ネットワークの構築	バスの「運行頻度」「運行間隔」における不満足割合	49.2%	H30 -	基準値より減	R10 -
127	4-6交通	02 交通基盤・交通環境の整備・充実	市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合	45.6%	R1 -	基準値より増	R10 -
128	4-6交通	市民アンケート指標	地域公共交通に対して満足している市民の割合 (No.12共通)	34.3%	R1 -	基準値より増	R10 -
129	4-7防災・危機管理	01 防犯対策の推進	多数利用建築物の耐震化率	87%	H30 89%	95%	R10 A
130	4-7防災・危機管理	02 災害応急活動体制や危機管理体制の強化	自主防災組織カバー率 (自主防災組織カバー率) = (自主防災組織等地域世帯数) ÷ (本市世帯数) × 100	22%	H30 22.0%	60%(北海道が公表(H29)している全道平均以上)	R10 B
131	4-7防災・危機管理	市民アンケート指標	災害に強いまちづくりができていると感じている市民の割合	17.4%	R1 -	基準値より増	R10 -
132	4-8消防	01 警防体制の整備	消防車両更新台数	-	H30 1台	15台	R1~10 合計 A
133	4-8消防	02 火災予防の推進	住宅用火災警報器の設置率	72%	H30 71.0%	83%	R10 C
134	4-8消防	03 救急救助体制の充実	救命講習会開始からの修了証発行者数	7,899人	H30 8,682人	12,000人	R10 A
135	4-8消防	04 消防団の強化	消防団員の充足率	81%	H30 73%	90%	R10 C
136	4-8消防	市民アンケート指標	消防体制(火災・救急・救助・予防)が整っていると感じている市民の割合	45.3%	R1 -	基準値より増	R10 -
137	4-9生活安全	01 交通安全の推進	交通安全教室・講話回数	80回	H30 77回	90回	R10 C
138	4-9生活安全	01 交通安全の推進	高齢者向け交通安全講話回数(上記内数)	24回	H30 24回	30回	R10 B
139	4-9生活安全	01 交通安全の推進	交通事故(人身事故)発生件数	235件	H30 178件	基準値より減	R10 A
140	4-9生活安全	01 交通安全の推進	高齢者(65歳以上)の運転による人身事故発生件数(上記内数)	69件	H30 53件	基準値より減	R10 A
141	4-9生活安全	01 交通安全の推進	歩行者被害の発生状況	39人	H30 34人	基準値より減	R10 A
142	4-9生活安全	01 交通安全の推進	高齢者(65歳以上)の歩行者被害の発生状況(上記内数)	10人	H30 14人	基準値より減	R10 C
143	4-9生活安全	02 防犯体制の推進	刑法犯認知件数	488件	H30 430件	基準値より減	R10 A
144	4-9生活安全	02 防犯体制の推進	町会等が保有する街路防犯灯のLED灯への更新数	13,324灯	H30 13,767灯	13,943灯	R10 A
145	4-9生活安全	03 消費生活の安定と向上	消費者相談の件数	1,092件	H30 965件	800件	R10 A
146	4-9生活安全	市民アンケート指標	交通事故や犯罪の対策が図られており、安全に安心して生活できていると感じている市民の割合	37.7%	R1 -	基準値より増	R10 -
147	5-1環境保全	01 市民生活における環境保全対策の徹底	大気及び水質の環境基準値超過件数	0件	H30 0件	0件	R10 B
148	5-1環境保全	02 地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化防止の一環として、省エネルギー対策に取り組んでいる市民の割合	29.1%	R1 -	基準値より増	R10 -
149	5-1環境保全	03 環境意識の高揚	清掃ボランティア参加数	10,724人	H30 10,471人	12,600人	R10 C

No.	施策	小施策	指標	基準値	令和元年度実績値	目標値	推移		
150	5-1環境保全	04 人と自然の共生	環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木・保存樹木・保全樹林の数	保護地区7か所 (北海道指定7)	H30	7か所	保護地区7か所 (北海道指定7)	R10	
				樹木15か所 (北海道指定2) (小樽市指定13)	H30	15か所 2 13	樹木15か所 (北海道指定2) (小樽市指定13)	R10	
151	5-1環境保全	市民アンケート指標	良好で快適な環境の保全が図られていると感じている市民の割合	27.7%	R1	—	基準値より増	R10	—
152	5-2循環型社会	01 3Rの推進に向けた自主的な取組への支援	市民一人1日当たりの生活系資源物排出量	142g/人・日	H30	142g/人・日	165g/人・日	R10	B
153	5-2循環型社会	02 ごみ・資源物の適正処理	市民一人1日当たりの生活系ごみ排出量	470g/人・日	H30	468g/人・日	425g/人・日	R10	A
154	5-2循環型社会	03 し尿などの適正処理	合併処理浄化槽設置数	116基	H30	117基	127基	R10	A
155	5-2循環型社会	市民アンケート指標	ごみの適正な排出や、3Rを心掛けている市民の割合	71.7%	R1	—	基準値より増	R10	—
156	5-3公園・緑地	01 緑の保全	中心市街地の市道における、街路樹本数	287本	R1	287本	300本	R10	B
157	5-3公園・緑地	02 公園・緑地の整備推進と維持管理の充実	市街地における、公園の整備や維持管理状況について、良くなったと感じる市民の割合	28.6%	R1	—	基準値より増	R10	—
158	5-3公園・緑地	03 市民との協働による緑化の推進と支援	市民参加による、緑化関連等の活動イベント開催数	4回	R1	4回	6回	R10	B
159	5-3公園・緑地	市民アンケート指標	公園やまちなかの緑に満足している市民の割合	43.1%	R1	—	基準値より増	R10	—
160	5-4都市景観	01 歴史的建造物の保全及び活用	指定歴史的建造物の指定件数	79件	H30	79件	79件	R10	B
161	5-4都市景観	02 まちなみ景観の創出	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合	76.0%	R1	—	基準値より増	R10	—
162	5-4都市景観	03 自然景観等の保全	小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合	80.8%	R1	—	基準値より増	R10	—
163	5-4都市景観	04 市民との協働による景観形成	歴史的建造物めぐり等の啓発事業への応募件数	165件	H29	48件	180件	R10	C
164	5-4都市景観	市民アンケート指標	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合 (No.161再掲)	76.0%	R1	—	基準値より増	R10	—
165	6-1社会教育	01 「学び」と「活動」の循環の推進	地域のボランティアと連携して実施する教育支援活動推進事業の回数	2,245回	H30	2,131回	2,600回	R10	C
166	6-1社会教育	02 生涯各期における学習機会の充実	「市民大学講座、はつらつ講座、やんぐくーる、生活講座、老壮大学」の人口に対する参加者の割合	2.0%	H30	1.9%	2.2%	R10	C
167	6-1社会教育	03 図書館の利活用の促進	市民一人当たりの貸出冊数	2.89冊	H30	2.62冊	3.20冊	R10	C
168	6-1社会教育	04 総合博物館の利活用の促進	入館者数（本館・運河館）	120,237人	H30	127,638人	140,000人	R10	A
169	6-1社会教育	05 文学館・美術館の利活用の促進	入館者数（文学館）	9,138人	H30	8,322人	11,000人	R10	C
170	6-1社会教育	05 文学館・美術館の利活用の促進	入館者数（美術館）	11,524人	H30	10,911人	13,000人	R10	C
171	6-1社会教育	市民アンケート指標	生涯学習に興味のある市民の割合	48.0%	R1	—	基準値より増	R10	—
172	6-2文化芸術	01 文化芸術の振興	小樽市文化祭の人口に対する参加者の割合	10%	H30	9.9%	12%	R10	C
173	6-2文化芸術	02 文化財などの保存と活用	文化財保存団体数	4団体	H30	4団体	4団体	R10	B
174	6-2文化芸術	市民アンケート指標	文化芸術の鑑賞や体験活動に参加したことのある市民の割合	35.7%	R1	—	基準値より増	R10	—
175	6-3スポーツ・レクリエーション	01 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民体力の向上	成人の週1回以上のスポーツ実施率	24.2%	R1	—	65.0%	R10	—
176	6-3スポーツ・レクリエーション	02 スポーツ団体との連携と競技力の向上	成人の週1回以上のスポーツ実施率（No.175再掲）	24.2%	R1	—	65.0%	R10	—
177	6-3スポーツ・レクリエーション	03 体育施設の整備と利用促進	主な体育施設3施設（総合体育館、高島小学校温水プール、銭函パークゴルフ場）を利用する延べ利用者の人口に対する割合	117.0%	H30	118.5%	122.0%	R10	A
178	6-3スポーツ・レクリエーション	市民アンケート指標	気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	23.1%	R1	—	基準値より増	R10	—
179	6-4国際交流	01 姉妹都市等との交流	ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数	ホストファミリー54世帯 通訳ボランティア70人	H30	55世帯 73人	ホストファミリー60世帯 通訳ボランティア100人	R10	
					H30			R10	
180	6-4国際交流	02 外国人が暮らしやすい環境づくり	在住外国人の日本語教室受講者数	17人	H30	20人	30人	R10	A
181	6-4国際交流	市民アンケート指標	国際交流に関心がある市民の割合	29.3%	R1	—	基準値より増	R10	—

※ No.15「各種保育サービスの延べ利用児童数」、No.16「地域子育て支援センターの延べ利用世帯数」、No.17「児童館・児童センターの延べ利用児童数」、No.20「虐待などの困りごと相談延べ件数」、No.29「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計得点（全国を50.0とした場合）」の小学校男子については、基準値に対し目標値を小さい値にしているが、端数処理の数値を目標値として設定し、現状維持することを目標としている。そのため、No.20「虐待などの困りごと相談延べ件数」のように基準値より数値が下回っていても、目標値を上回っていた場合に限り「計画で設定した基準値と同数値（B）」と整理している。

※ R1～10合計を目標値としている指標については、基準値を0として推移を確認しています。